

ライフキャリア教育かながわモデル発信事業【神奈川県】

総事業費	759 千円
交付金額	379 千円

地域の実情と課題

- 神奈川県は
 - ・全国の中でも長時間労働、長時間通勤の傾向
 - ・M字カーブの谷の底の値、深さともに他の都道府県に比べ低位
⇒管理職に占める女性の割合も低い。
- 本県の若年層は、理想の家庭像として「男女共同参画」が望ましいものの、現実には「育児は女性を中心」と考えており、そうした意識には特に女性の保護者の考え方など、家庭環境の影響が強く現れていることが、意識調査の結果から伺える。

目的・目標

- 就職前の若年層（高校生、中学生）を対象に、ライフ（生活）とキャリア（仕事）を一体的に考え、固定的性別役割分担に捉われることなく自身のライフプランをデザインする力を育成することで、本県の女性の活躍を一層推進する。
- ①高校生向け出前講座の受講者アンケートにおいて「ライフキャリアを考えるヒントが得られた」等、前向きな回答を得られた割合
〔目標〕90%以上
- ②中学校における出前講座の受講者アンケートにおいて、自身のライフキャリアを考えることの大切さに関する前向きな回答を得られた割合
〔目標〕70%以上

事業の特徴

- 高校生向け啓発冊子（電子版）の配布により、高校における取組みの一層の普及を図った。
- 文系・理系など、将来につながる進路選択の手前の段階にいる中学生に向けた取組の普及啓発のため、中学教員向けリーフレットを作成するとともに、新たに出前講座を実施した。

連携団体

- 女性活躍推進に関する取組に係る情報交換会
…神奈川県労働局、各政令市、（一社）神奈川県経営者協会等と本事業に関する情報提供を行うとともに協力を依頼
- 県内市町村
…市町村会議で、本事業に関する情報提供を行うとともに協力を依頼

事業の効果

- 高校でのライフキャリア教育啓発冊子の活用アンケートでは、ライフキャリアに関する情報を、自身の進路や将来の働き方・生き方を考える上での参考としていただけた。
- 出前講座実施後のアンケートでは、高校・中学校共に、8割以上の生徒から参考になった、自身のライフキャリアを考えることの大切さを理解できたと、自らのライフキャリアを考える上での参考としていただけた。

今後の課題

- 県内の多くの高校で、高校生向け啓発冊子を授業等で活用していただけるよう働きかけを行うことが必要
- 今年度の実施状況を実施状況に参考にしてもらうなど、中学生向けプログラムを、県内の中学校に広く周知活用を促していくことが必要

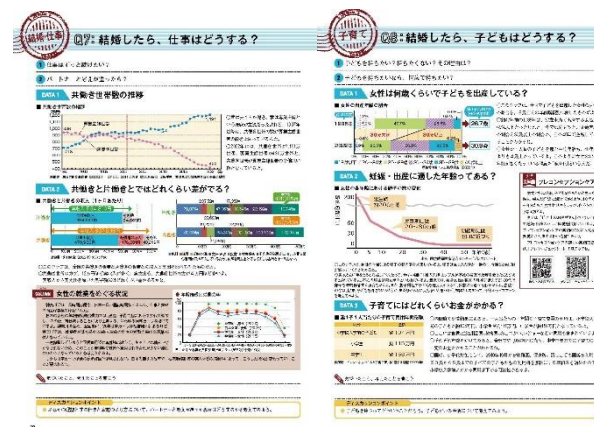
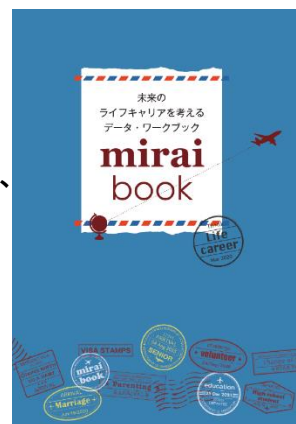
事業の概要

高校生向け啓発冊子「mirai book」(電子版)の配布

○高校生向け啓発冊子について、男女共同参画の視点から、将来の働き方・生き方を具体的に考えるきっかけづくりとなるとともに、高校でより活用してもらえるよう、一部内容を更新し、冊子の印刷配布を行った。

〔主な更新事項〕

- ・グラフやデータの一部に最新の調査結果を反映させた。
あわせて、解説も最新の状況を反映させた。



高校生向け及び中学生向け出前講座の実施

○高校において、アクティブ・ラーニングの手法を用い、専門的な知識・経験を持った講師による出前講座を実施した。

○中学校において、「ライフキャリアすごろく」「未来の自分にインタビュー！」を活用した出前講座を実施した。



ライフキャリア教材の活用例をご紹介します

CASE 1 教科内で「mirai book」を活用

ねらい

総合学習、家庭総合、現代社会、保健等の授業に、ライフキャリアの視点を取り入れることで、より自分らしい生き方や働き方を選択するための人生設計のポイントを学ぶ。



利用教材

●啓発冊子「mirai book」
主に高校2年生に向けた副読本。活用例や補足データを紹介する指導者用資料も一緒に配布しています。

手順

- mirai book (全高校・中等教育学校・特別支援学校に配布)の中で、活用ページを決める。
- mirai bookの部数に不足があれば取り寄せるor県HPから該当ページを印刷。
- 指導者用資料を参考に、授業構成案(下記参照)を作る。
- 必要であれば、ワークシートなどを作る。

授業構成案 (50分)

時間	項目	形式	目的・内容
10分	導入	講義	ライブチャリアの説明。 各教科のどの単元に該当するか説明。 (指導者用資料参照) 導入のヒント 導入で視聴覚教材（DVD等）を用いた上で、授業後や事後学習としてテキストやワークシート、IMD BOOKを配付して、より具体的にライブチャリアのイメージを持ってもらうことが出来る。